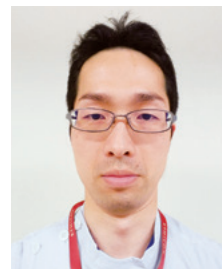


◎ 2017年度若手医師奨励賞受賞



独立行政法人地域医療推進機構 滋賀病院 外科

長澤 芳信 (平成 21 年卒)

この度は、若手医師奨励賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。このような栄えある賞をいただいたことを、誠に光栄に思っております。

今回受賞させていただいた Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for a duodenal neuroendocrine tumor: A case report は Asian Journal of Endoscopic Surgery に掲載されました。Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery は消化管内視鏡観察下に、腹腔鏡手術を行い、適切な切除範囲を決定する術式です。胃の噴門部や十二指腸など、過大な切除により変形や狭窄が問題となる部位に用いられる術式です。私が東近江総合医療センターの在任時の際に経験した症例で、消化器内科の先生方と協力して手術を施行した1例を論文化したもので、当時十二指腸の神経内分泌腫瘍に対しての手術症例は希少でした。

遅筆であり、学会発表から論文化までに1年余りを要しました。論文化にあたりまして、谷 眞至先生・来見先生および諸先生方に懇切丁寧な御指導をいただき、何とか掲載までこぎつけることができました。今後はできる限り、学会発表から論文化までの期間をできる限り短くできるように精進したいと思っております。

繰り返しにはなりますが、このような大変名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。この賞を励みに論文作成に勤しみたいと思います。今後とも御指導・御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。